

国際柔道連盟試合審判規定改正に伴う国内大会への適用について

2017年11月に国際柔道連盟（IJF）より審判規定改正の骨子が発表され、その後、NFに対して改正内容が通知された。更に1月にアブダビにおいてIJF主催による審判・コーチセミナーが開催され、改正内容の説明が行われた。

これを受け、審判委員会として国内大会への適用を以下のとおりとしたい。

1. 大会への適用

- ① 平成30年4月1日より全柔連単独主催大会では原則として改正された国際柔道連盟試合審判規定を適用する
対象大会： 全日本選抜体重別選手権大会
全日本カデ体重別選手権大会
全国教員大会
全国小学生学年別大会
全日本ジュニア体重別選手権大会
マルちゃん杯全日本少年大会
講道館杯全日本体重別選手権大会
- ② 実行委員会のある大会においては実行委員会の判断に委ねる
対象大会： 皇后盃全日本女子選手権大会
全日本選手権大会
全国少年大会
全日本少年少女武道錬成大会
全国高等学校選手権大会
近代柔道杯全国中学生大会
- ③ 共催大会においては①の方針を申し入れ、関係団体と協議の上、決定する
対象大会： インターハイ柔道競技会
全国高等学校定時制通信制大会
全国中学校大会
国民体育大会柔道競技会
- ④ 上記大会の中で、団体戦や少年大会特別規定を適用する大会については適用方法を別途審判委員会で検討する

2. 審判規定の伝達等

- ① 審判強化研修会の実施
 - 2月4日 講道館
- ② Aライセンス審判員研修会の実施
 - 2月17日 大阪講道館
 - 3月3日 講道館
- ③ 大会参加者への伝達
 - 全日本選抜体重別選手権前日代表者会議
 - 全日本カデ体重別選手権前日選手説明会
 - 皇后盃全日本女子選手権前日選手説明会
 - 全日本選手権前日選手説明会

平成30年2月3日
審判委員会委員長 大迫 明伸